

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
		○	○			○			○				○	

企業の概要

社名	株式会社北陸人材ネット	都道府県	石川県
業種	サービス業(他に分類されないもの)	従業員数	3
事業概要	有料職業紹介、人材コンサルティング		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則の本則や細則では定めていないが、運用ルールやマニュアルを作成している
テレワーク担当部署	本社
テレワーク対象者	3名
実施者数	リモートワーク1名、モバイルワーク2名
実施日数	おおむね週3-4回

テレワークの導入・拡大の経緯

- モバイルワークはもともと北陸3県の出張時に実施していた。
- リモートワークについては以下の通り
 - 結婚に伴う転居が決まった時点で、どうやれば仕事を続けることができるかを前提に議論し、その中でリモートワーク導入を検討
 - 導入上の問題点や有効な施策を検討するために、学生向けに課題解決型のインターンシップを実施(自社にあったリモートワーク実施方法を学生から提案してもらう)。
 - 学生の提案内容を基にリモートワーク開始

2016年4月～
2016年8月～9月
2016年10月

テレワークの概要・特徴

- ・インターンシップに参加した学生の調査から「雑談」が職場のコミュニケーションや人材育成力向上に有効であることが明確化。
- ・リモートワーク実施に当たって、雑談できる環境を確保するためにSNSツールを全社員で利用したり、リモートワーク社員の本社出勤時のコミュニケーション(雑談の場を確保)に配慮した。
- ・自宅で勤務しても良かったのだが当該社員の希望で居住地の近隣にあるシェアオフィスを使用してリモートワークを行った。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ・当社のような従業員3名の零細企業でも、必要に迫られた結果、議論を重ねて仕組みを検討し、やってみたら何のデメリットもなかった。
- ・弊社のような零細企業にとって、リモートワークによって、業務に精通し優秀な女性社員を辞めさせずに済んだことのメリットは極めて大きい。